

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
Ⅲ 「安らぐまち」の実現																		
市民への防火意識のさらなる普及啓発	1	火災予防の推進	火災を予防するとともに、いざという時に行動することができるよう、幼少年から高齢者に対する火災予防啓発を推進する。	●	●	予防課	住宅用火災警報器の設置率の向上	88.0%	R5	R5年度比向上	R6年度比向上						3,500	3,786
	2	消防音楽隊による防火・防災意識の醸成	消防音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、幅広い世代を対象に消防のPR活動や防火・防災の啓発活動を実施する。	●	●	訓練研修センター	聴衆者数の確保	9.2万人	R5	12万人	12万人						6,000	940
救急体制のさらなる強化	3	ICTを活用した救急搬送スピードアップ事業	救急需要の増加などの影響で、救急車が病院に到着するまでの時間が伸びているため、患者情報を早期に医療機関と共有できる「患者情報管理システム」を導入し、搬送の迅速化を図る。	●	●	救急課	心肺停止傷病者の1カ月生存率の向上	16.4%	R5	16.6%	22.4%						37,300	19,298
	4	応急手当の普及啓発活動の推進	不測の事態により傷病者が発生した場合、現場に居合わせた誰もが適切に応急手当を行い、一人でも多くの市民の命を守るため、子どもから大人まで幅広い範囲で、応急手当の普及啓発活動を推進する。	●	●	救急課	心肺停止傷病者の1カ月生存率の向上	16.4%	R5	16.6%	22.4%						856	856
	5	救急救命士資格取得研修	市民に対し、高度な救急救命処置ができるように、新規救急救命士や気管挿管認定救命士の養成を行う。	●	●	救急課	心肺停止傷病者の1カ月生存率の向上	16.4%	R5	16.6%	22.4%						14,735	14,932
	6	救急需要増大に伴う救急車の増台	高齢化の進展等により救急需要が増大しており、消防研究センターと行った将来推計では、2035年まで救急出動件数の増加が見込まれている。増大する救急需要に対応するため、運用する救急車を増台する。	●	●	救急課	心肺停止傷病者の1カ月生存率の向上	16.4%	R5	16.6%	22.4%						42,693	99,568

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。